



但馬の小京都、出石を楽しむ 重要伝統的建造物群保存地区

城下町 出石散策MAP



出石きものレンタル

種類豊富な着物と帯で多彩なコーディネートが楽しめます。

選べるきものは170種類以上

手ぶらで行って気軽に着物をレンタル。いつもとは違った雰囲気が出石の町を散策できます。

要予約

◎レンタル料/5,000円 [着物 + 着付け + 着付け] ◎その他、詳細は下記ホームページよりご確認ください。
http://www.izushi.co.jp/rental_kimono/

お着がえ処 無 <こちらで、きものに着がえて頂けます。>
兵庫県豊岡市出石町内町87-3 [丹後ちりめん歴史館の建物内]
ご予約・お問い合わせ ☎ 0796-52-4806 (出石観光協会まで)

要予約

EVカーレンタル

電気自動車で快適に街巡りができます。
(要普通自動車免許)
レンタル場所/いずし観光センター

レンタサイクル

出石の町をスイスイ自由に見て回るのにおすすめです。
レンタル場所/家老屋敷

いずし散策モデルコース

このモデルコースは、出石散策の一例です。マップを頼りに自分流の旅をお楽しみください。

お気軽2時間コース

出石永楽館 → 伊藤清永記念館 → 家老屋敷 → 出石城跡 → 辰鼓楼 → 出石旧福富家住宅 → 酒蔵 → 宗鏡寺

たっぷり1日コース

伊藤清永記念館 → 家老屋敷 → 辰鼓楼 → 出石城跡 → 経王寺 → 加藤弘之生家 → 出石明治館 → 宗鏡寺 → 酒蔵 → 出石旧福富家住宅 → 桂小五郎潜居跡 → 見性寺 → 出石ふれあいセンター → おりゅう灯籠 → 出石永楽館 → 静思堂 → 出石神社 → 総持寺

[車・レンタサイクルなどご利用ください]

散策途中に、お土産ショッピングや出石皿そばの旨味もお忘れなく!

ゆつくりと時間の流れる城下町。情緒をあげいわいながらどっぷり散策。

詳細MAP

お着がえ処 無

◆散策に便利!ご利用ください。

EVカーレンタル

電気自動車で快適に街巡りができます。
(要普通自動車免許)
レンタル場所/いずし観光センター

レンタサイクル

出石の町をスイスイ自由に見て回るのにおすすめです。
レンタル場所/家老屋敷

出石手帳

いずし てちよう

但馬の小京都

出石を巡る散策手帳



さまざまな歴史的ドラマを生んだ五万八千石の城下町

但馬開発の祖神「天日槍(あめのひぼこ)」がこの地を拓いたとされ、古くは「古事記」「日本書紀」にも登場する出石。室町時代には、山名氏が此隅山城を構え但馬の中心として繁栄しました。その後、有子山城、出石城と城が変わり、領主も変わっていく中で、沢庵和尚や桂小五郎、加藤弘之、斎藤隆夫など、歴史的に有名な人物とも深く関わりを持つ城下町となつていきます。街のあちこちにドラマチックな歴史の足跡が残る出石の街を、ゆつくりと散策しながらお楽しみ下さい。



④ 豊岡市工芸館 伊藤清永記念館

出石出身の洋画家、伊藤清永の初期の代表作「磯人」「工夫人像」、後期の代表作「裸婦像」等を常設展として展示。絵画や愛用の画材も展示しています。



⑤ 出石明治館

郡役所として明治 10 年に建造された木造擬洋風建物。日本の天気予報の創始者である桜井勉をはじめ、出石の偉人展を常設しています。



⑥ 宗鏡寺(すきようじ)



山名氏の菩提寺として創建された宗鏡寺は、永らく荒廃していましたが、元和二年(一六一六)、沢庵和尚により再興されました。通称、沢庵寺とも呼ばれ、沢庵和尚が造った名園は県指定文化財にもなっています。

⑦ 出石酒造酒蔵



深い味わいを見せる赤い土壁造りの酒蔵。現在も地酒「楽々鶴」を販売しています。



⑧ おりゅう灯笼



江戸時代、交通運輸に利用された旧出石川の大橋東詰にあった船着場の灯笼です。現在は常夜灯として使用されています。

⑨ 出石旧福富家住宅



生糸を商っていた明治時代の豪商の邸宅。旧福富家を改装した史料館。土台に使われている石だけで家が軒建つと伝わる屋敷は京都から職人を招いて当時流行の数寄屋風に仕上げたという贅沢な造り。明治期の高度な建築技術が駆使された建物は極めて貴重で、豊岡市指定文化財になっています。

⑩ 見性寺(けんしやうじ)

出石の街の西北に建つ曹洞宗のお寺。境内隅に櫓のような構造物があり、城下における砦の役割を担っていました。

⑪ 出石永楽館

出石永楽館は、明治三十四年に開館した近畿最古の芝居小屋です。平成二十一年に四十四年の芝居を経て蘇りました。歌舞伎など興行の無い日は一般公開され、廻り舞台や奈落など舞台裏も見学できます。

映画「国玉」ロケ地になりました。

9時30分～17時 最終入館16時30分 大人400円 学生240円 小・中学生以下無料 休木曜日、12月31日・1月1日

⑫ 出石神社



但馬の宮神社として但馬開発の祖神「天日槍(あめのひぼこ)」と八種の宝が祀られています。「古事記」「日本書紀」にも名を連ねる山陰有数の大社です。五月五日には節句祭「幟まわし」と呼ばれる地区内を幟を立てて回す行事が行われます。



ACCESS

お車・観光バス ◎大阪・神戸・京都から【約3時間】
◎姫路から【約2時間】

JR ◎京都から特急で【約2時間30分】
JR山陰本線にて「豊岡駅」「江原駅」「八鹿駅」下車。全但バス、出石行きで約30分。
◎大阪から特急で【約2時間30分】
JR福知山線にて「豊岡駅」「江原駅」「八鹿駅」下車。全但バス、出石行きで約30分。

飛行機 ◎大阪空港からコウノトリ但馬空港まで【約35分】
空港から全但バスで豊岡駅まで【約15分】
出石行きバス乗り換え【約30分】

NPO法人 但馬國出石観光協会
〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町104-7
TEL.0796-52-4806 http://www.izushi.co.jp

株式会社 出石まちづくり公社
〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町104-7
TEL.0796-52-6045 http://www.izushi-tmo.com



出石町内で被災した際に役立つ情報を掲載しています



出石観光客緊急避難ポータルサイト



[R8.4 改訂]

出石皿そば

挽きたて、打ちたて、茹がきたて 伝統の「三たて」が美味しさのヒミツ。

出石皿そばのルーツは、宝永三年(一七〇六)に出石藩主松平氏と信州上田藩主仙石氏がお国替えになった時に始まります。その際、仙石氏と共に信州から来た職人の技術が在来、そのそば打ちの技術に加えられ出石そばが誕生しました。その後、出石焼が始まり白地の小皿に盛る様式が確立されました。小皿に盛りつけた独特のスタイルで食べる出石皿そばは、挽きたて、打ちたて、茹がきたてと「三たて」で作られ、そばの美味しさを存分に楽しんで頂けます。



皿そばの本場出石で、自分で打つ本格そばの味は最高の思い出。



店によって違う皿そばの味を3店分ご賞味いただける「出石皿そば巡り巾着セット」も好評発売中。
[問・販売]いずし観光センター
☎0796-52-4960



出石皿そば協同組合 / www.izushi.jp/sarasoba/

出石焼

透き通る様な伝統工芸品



透き通るような白を特徴とする白磁。出石焼は、柿谷陶石と呼ばれる純白の原料を使つて焼かれ、その神秘的なまでの白さは他に例を見ないほどです。



絵付け体験
出石焼に絵付けの体験ができる製陶所もあります。旅の思い出にどうぞ。

⑭ 辰鼓楼(しんころう)

辰鼓楼は、明治四年(一八七二)旧三の丸大手門脇の櫓台に、時刻を知らせる太鼓を叩く櫓として建設されました。明治十四年に医師、池口忠恕氏が大時計を寄贈してからは、日本最古年の時計台として親しまれています。

いずしゅごよみ

お祭り・催し・年間イベント情報

3月中旬 出石初午大祭
三たんーの大祭で、商売繁盛・五穀豊穡を願い、但馬に春の到来を告げるお祭りです。

4月初旬 出石桜まつり
出石城跡周辺で開催され、名物の「出石そば喰い大会」などのイベントも行われます。

5月5日 幟まわし
出石神社社前などで行われる。天日槍の但馬開発にまつわる祭りのひとつです。

8月下旬 愛宕の火祭り
伊福部神社で行われる。無病息災を祈念して荒縄で束ねた麦わらに火をつけて振り回す奇祭。

10月上旬 出石秋まつり
豊作を祝って行われるだんじりは「喰嘩だんじり」とも呼ばれ、だんじり同士がぶつかり合います。

10月下旬 出石皿そば新そばまつり
その年の秋に収穫された、新そばを使って打った「出石皿そば」を食べていただけます。

11月3日 出石お城まつり
総勢120人からなる子供大名行列と、奴に扮した30数名の大人による槍振り(町をねり)歩きます。

⑬ 静思堂

斎藤隆夫記念館
肅軍演説を行い、軍国主義に屈しなかった「憲政の神様」と言われた政治家 斎藤隆夫の威徳を偲ぶため建てられた記念館です。

